

## 自由民主党行政改革推進本部幹事会勉強会における行政改革の 取組状況の説明について（全国知事会）

4月20日（火）午後4時から開催された自由民主党行政改革推進本部幹事会勉強会において、太田房江大阪府知事が出席し、別紙の資料に基づいて大阪府における行政改革の取組を説明され、地方公共団体における行政改革の努力を訴えました。

# 大阪府の行財政改革の取組状況

## スピードある改革・新しいシステムづくり

### 21世紀にふさわしい新たな自治体へ

◆施策や組織、行政運営システム、職員の意識など、それまでの「右肩上がりの時代」の府政を打ち破り、府政の全面的な構造改革をすすめるため、平成13年9月に「大阪府行財政計画(案)」を策定。

**取組をスピードアップ! あらゆる分野において前倒し、さらなる改革を実施**

14~16年度  
(集中取組期間)

計画案	実績見込
1,145億円	2,132億円

- ◆総合的な行政評価システムの構築
- ◆スリムな組織づくり
- ◆e-ふちょうの取組(総務サービスセンターの設置)
- ◆負の遺産の整理
- ◆出資法人改革

## 全国最低レベルの給与水準

### 全国1位から3年間で一気に全国最低水準へ

#### 2年間の普通昇給ストップ

平成11~12年度・・・将来効果あり

#### 4年間特別昇給ストップ

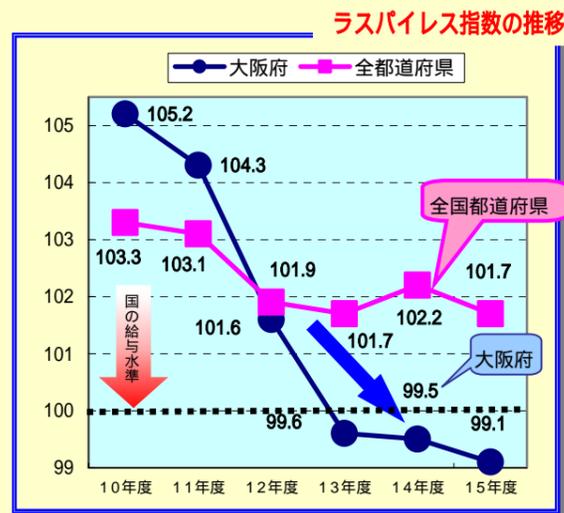
平成11~14年度・・・将来効果あり

#### 人事委員会のプラス勧告に対し、給与のマイナス改定等

平成14年度、平成15年度

#### 退職手当制度の見直し

平成15年度



全国最低レベルの給与水準

平成8~16年度において  
約9,000億円の  
取組効果

#### 歳出抑制

約5,080億円

人件費の抑制、出資法人改革  
や事業の見直しなど

#### 歳入確保

約3,830億円

課税・納税の取組や超過課税  
の実施、財産処分など

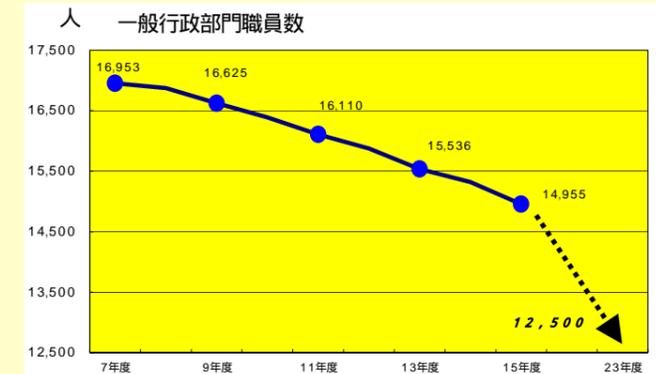
年間約1,000億円の  
取組効果(H8~16)

平成16年度  
一般会計当初予算  
3兆1,636億円

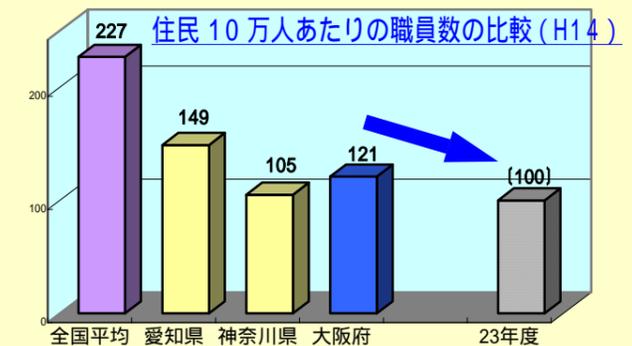
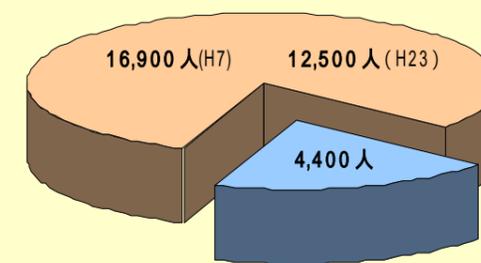
## 全国の都道府県でもっともスリムな組織へ

- ◆一般行政部門(警察・学校を除く)において平成14年度から10年間で3,000人削減
- ◆平成8年度からの削減数を含めると4,400人の削減

⇒ 全国一スリムな組織



一般行政部門(警察、学校を除く)



## 出資法人数の半減等と経営改善

### 3つの削減目標と5つの経営改善プラン

#### ◆3つの削減目標

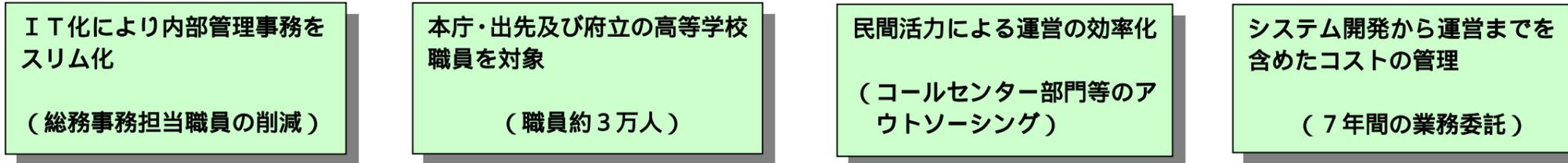
- 1 79法人を10年間で概ね半減
- 2 役員数(137人)職員数(4,770人)を10年間で概ね20%削減
- 3 府からの補助金等(約200億円)を3年間で10%削減

#### ◆5つの経営改善プラン

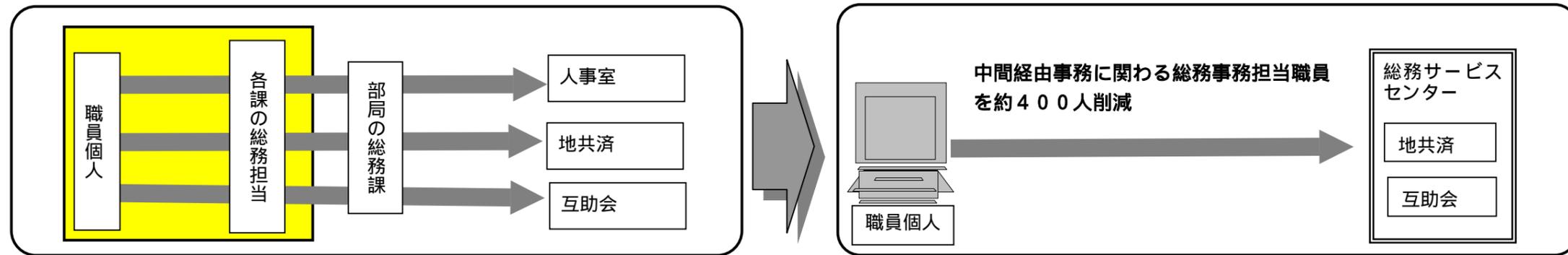
- 1 経営目標の策定・経営評価の実施
- 2 積極的な民間活力の導入
- 3 民間人材の登用
- 4 経営実態に応じた給与体系の導入
- 5 グループファイナンスの導入や人事交流

## 総務サービスセンター事業の概要

1. 事業の特徴 総務関係3事務（人事・給与・福利厚生、財務会計、物品調達）の業務改革  
 :平成14年9月に開発着手、本年4月に稼働



2. 業務の改革例（各種職員手当等の申請）



3. 総務サービスセンターの構成

